２０２５年1月１６日作成（第２版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学泌尿器科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２４年　3月

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座　秦　淳也

■ 研究課題名

ロボット支援前立腺全摘後患者に対する CT を用いた術後尿失禁の予測因子を検討する後ろ向き研究

■ 研究期間

２０２４年3月　～　２０２６年3月

■ 研究の目的・意義

ロボット支援前立腺全摘除術は、限局性前立腺癌に対する一般的な治療法です。しかし、この手術を受けた人は、時々尿失禁という問題に直面します。これは、患者さんの生活の質を低下させることが知られています。

手術後の尿失禁のリスクを予測するために、年齢や体重の指数（BMI）など色々な要因がありますが、まだ完璧な予測方法は見つかっていません。最近の研究では、CT を使って、腸腰筋の大きさを測ることが、がんの予後や他の合併症を予測するのに役立つかもしれないと注目されています。しかし、この方法が手術後の尿失禁の予測に使えるかどうかは、まだはっきりしていません。

この研究の目的は、腸腰筋の大きさと手術後の尿失禁の関連性を調べることです。手術前の CT で腸腰筋の大きさを測ることによって、手術後の尿失禁を予測できるようになれば、治療の選択や患者さんへの情報提供に役立つだけでなく、尿失禁の原因を理解する手助けにもなるかもしれません。

■ 研究対象となる方

２０１３年1月から２０２４年3月に福島県立医科大学で限局性前立腺癌に対してロボット支援前立腺全摘除術を受けた患者様が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、身体所見、血液所見、画像所見、尿失禁量、などの項目につ

いてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２４年4月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学泌尿器科学講座であり、研究責任者は泌尿器科学講座秦淳也です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学泌尿器科学講座で利用し解析を行います。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先
〒960-1295　福島県福島市光が丘１番地
公立大学法人福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座　担当：長谷川暁久
電話：024-547-1316　　FAX：024-548-3393
e-mail：uro-hase@fmu.ac.jp